とかち新聞

主筆　松山明

（発行所）北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話135.1番

本紙定価　1部20円　1カ月50円　1カ年前納500円

台風一過の選挙戦その後

足寄

四月二十八日午後六時、足寄町長、町議選の投票がおわつたと同時に本別警察署員によつて小林町長候補選挙事務所が家宅捜索をうけ同派運動員の長谷部たかし氏が買収容疑で逮捕され、さらにこのあと道東建設工業事務所も家宅捜索をうけ稲川秀勝氏が逮捕されました。

取調べの結果かがどうなるかは別として、町長選の結果かがこのような事態を招いたのは町としてはじめてのことなので、十六日に招集予定の小林町長による初町議会において、政治的、道義的な責任追及の論議があるのではないかとみられています。

町政刷新のかけ声に乗つて地区労をはじめ革新陣も馳せ参じはしたが、選対構成そのものは保守層で切られたためともみられています。

小林派だけをやりこめるためにあらゆる手が入るのではないかいまが、小林派の道反にも手が入るのではないかといった声もきかれます。いずれにしろ、食べものを選ぶさえ暮らに最後の瞬間まで暴れんために専心していなければものにならないということです。

天下分け目の争奪戦

投票日の前日の二十七日は運動の最終日とあつて、小林派、高橋派ともお互いの地盤を荒されては大変とばかりに徹夜の警戒体制に入つたことはいつものとおりで、町内各地区の道路という道路は両派からくり出した自動車数百台によつて交通と絶状態だつたといわれるほどに最後の最後まで相変らずのオーソドックスな天下分け目の選挙戦がくりひろげられたものです。

バカバカしいといつてしまえばそれまでですが、お互いに相手がやるから張り合わざるを得ない羽目となり、本年一月いらいの両派による長い道中の後援会合戦がものがたつているように、莫大な精力を投じてあの手この手の有権者争奪戦を展開してきたもので、お互いに違反があがらないのが不思議というくらいのものでした。

こうした長丁場の事前運動と大仕掛けの選対を組まなければ太刀討ちができないとあつては、どこもだれでも町長選に乗り出せないわけで、こんな物量選挙をつづけていては町政の民主化は未だしの感をあたえます。

町議選も物量で

スケールはちがつても町議選も同様に人物や政策にもとずく言論戦本位では票に結びつかず、事前運動から本番に入つても手足の多の獲得に入り、連日、連夜飲み放題、喰い放題のサービスぶりで工作をすすめ、投票日には丁重に各有権者を自宅から投票所までの間を自動車で送り迎えするという、至れりつくせりの物量型もあつたそうで、わずか二、三百票の獲得に数十万円も投じたとのうわさもあるほどです。

二百票そこそこで当選のできるとして身近な選挙だけに、なんといつても親類縁者や人のつながりの多い候補や居住地域のまとまつている候補などがもつとも有利で四年間ロクな議会活動もせずにすでしてきても票あつめだけに力を入れれば立派に当選できるという町内選挙の在り方が問題です。

まさか「選管」が―

奇怪なうわさ

そこへもつてきてこのたびの選挙に関連して当の選挙管理委員会の在り方について奇怪なうわさが流れていることで、その話題の二つ三つをあげてみます。

いやがらせの投げ石

選挙事務を統轄して公正な立場にあるべき選管委員長の甲斐固蔵氏の動きが一方的だつたとのうわさをよくきかされましたが、たとえば小林後援会では当初足寄駅前に事務所を設置して活動を開始したが、毎夜のように石を投げ込まれて家主に迷惑を及ぼす状態となつたので、止むを得ず足寄劇場前へ移転せざるを得なかつたそうでだれがいたずらをするのかわからないが、そこにいるにいられなくなつたのは事実で、そのころの小林氏支持層の話しでは、足寄駅前一帯の土地は甲斐氏が高橋安蔵氏から借りている土地であり、その土地内に小林事務所があつたのでは甲斐氏も具合が悪かろうとアツサリ引つ越したものの、このイヤがらせはだれの仕わざか未だにわからないとのことですが―。

公民舘を横どり

四月二十六日午後六時から町長町議候補の合同演説会を開催することにして公民舘の承諾を得て全候補予定者に松山明が通知を―、各新聞でもこの催しを報道して既定計画となつていたのに、選管委ではこの計画を知つておりながら突如としてこの日時、会場を高橋町長候補の個人演説会として許可をあたえてしまつたものです。

選管の許可した言い分としては二十一日の告示当日における公民舘使用の届出が松山より高橋氏の方が数分間早かつたためだといいますが、当日は町議候補よりも町長候補の方を先に受付しているのだから高橋氏の方が早く届出できるのは当然で、この早さは公正ではなく、選管のこの方式でゆけば先手有効であらゆる公営施設の独占使用を許可するという乱暴な事態を招くことになります。

先に計画したものへの迷惑はおかまいなしに、町長候補の受付が早いことを見越して知能犯的にタツチの差でゝ公民舘横どりゝのわがまゝをとおさせた選管の姿はまさに現職町長の私物化を思わせたものでした。

しかしこの公民舘の使用時間を高橋氏が午後八時までと届出していたので松山の方で午後八時から使用を届出したために、実質的な立会演説会となつてしまい、町民が望んでいた場面をつくりあげる結果となりました。

疑惑の投票用紙

不在者投票の分は有権者の住所毎にまとめてそれぞれの投票所へもつていつて投票されますが、もつてゆくのはそれぞれの投票所の管理者として選管委から任命された役場の課長や係長たちです。

ところがこのたびは不在者投票の入つた袋を前日に渡しているということで、それぞれ課長や係長が自宅へもち帰つてひと晩あたためていたということで、一枚々々が封筒に入つているとはいえ、あけてみれないものではなく、手直ししたりすり替えたりできないものではないというところに問題があり、しかも主要な投票所には町長の腹心とみられていた課長や係長を管理者として配置してあつたといわれている点にも疑惑がもたれているようです。

果してそんな恐ろしい不正がおこなわれたかどうかについては、たしかにやつたという証拠もないかわりに、絶対にやらないという保証もないことです。

公金の自宅保管で課長を辞めさせたのに、それよりも大切な主権行使の結晶である投票袋をわざわざ個人の私宅に保管させる目的はなにかということです。

国や道の段階の選挙であれば投票用紙は道から送られてくるが町の選挙は町が投票用紙をつくるところにあかんぐればかんぐられるフシがあろうというもので不在者投票についてばかりでなく、最後のあの開票当日のドサクサにまぎれてどんなカラクリがおこなわれたかわからないのです。

まさかそんなことがーといわれても、これまでの八年間において数々の不正、違法行為が堂々とまかりとおつてきた実績に照らして疑惑をあかれているようです。

ハミリ　カメラ　写真材料

上野カメラ堂

上野復興

足寄駅通り　T420

稲、麦、草刈りはもちろん地ごしらえにも万能機！

イリノの刈払機　39,000円

日立の刈払機　44,000円

造林用刃物植付鍬

日本一　北の神印鎌　当麻鎌

マキタ　日立　電動工具

有限会社　鈴木鋸刃物店

足寄町大通り　電話307番

家具・建具製造

各種　建築資材販売

各種　アルミ、スチールサッシ

桜井建具店

足寄町北5区

電話362番

○…二十年間にわたつた工藤稲吉町長の女房役だつた千葉俊一氏が陸別町長の座についての初仕事は町役場4月1日の玄関わきの応接室にうつしてその扉をとりはずしてしまつての門戸開放！

○…「ガラス張り…」のガラスもない町長室なので、密室でのコソコソばなしはないし、職員も来客の有無に気を使う必要もないので朝起きるから夜寝るまで、寝てか事務決裁もトントン拍子。

明るい千葉町政のスタート

○…議会事務局では十日に議員協議会をひらいて仮議席の抽せんや下準備をすませたあと、十二日にこの日の議会に助役選任を緊急に提案。

○…その人は教育次長から議会事務局長をつとめたあと工藤前町長によつて教育長にバツテキされた佐々木春志氏。そして後任の教育長には白鳥西小学校長。

○…助役二十年の千葉町長に助役春志氏。そして後任の教育長には白鳥西小学校長。

○…議会事務局長の徳光[illegible]氏は[illegible]年度運動報酬[illegible]

○…教育は現場の[illegible]とを[illegible]決定[illegible]

支会長に鈴木氏

北教組足寄支会

牧義組[illegible]

[illegible]